

多摩市の取り組み

～mott**ECO**！知ってコ！使ってコ！～

東京都多摩市 環境部 資源循環推進課
4 R推進担当主査 古川 久美子

多摩市はこんなところ

東京都心から電車で約30分。
多摩地域にある人口約15万人、多摩ニュータウンで
全国的にも有名な、豊かな緑あふれる街です！



ごみ減量への取り組み

<多摩市令和7年度ごみ量>

年間一人当たり 521.8g 資源化率 32.6%

多摩市一般廃棄物処理基本計画 目標

◆ごみ排出量(燃やせるごみ・燃やせないごみ・粗大ごみ・有害性ごみ)

市民1人1日あたり 567.1g/人・日 (令和3年度) ⇒ 485.9g/人・日

14%削減 (令和3年度比)

◆資源化率※ 34.0% (令和3年度) ⇒ 38.0%以上

◆埋立処分量 焼却残さを資源化し、0tを維持

この目標を達成するために、更なるごみ減量・資源循環に向けて取り組みを進めているところです。

mottECOコンソーシアムへの加入！

コンソーシアムの主催するmottECO FESTAへの参加、そしてヒアリング等を経て、令和5年11月よりコンソーシアムに加入して活動を開始しました。

そして、参加されている多くの企業の方たちや大学、先行自治体である杉並区と情報交換をしながら「mottECO普及推進事業」を展開しました。



mottECO！知ってコ！使ってコ！

飲食店等での食べ残しによる食品ロスを削減するため、
食べ残し持ち帰りの普及・啓発を図る「mottECO普及推進事業」
を実施しました。

「食べ残しの持ち帰りという行動様式を普及し、定着に取り組んで
いただける飲食店」を募集し、協力いただける店舗には
mottECO容器などを提供しました。

初年度である令和6年度では協力店21店舗で実施、2年目となる
令和7年度には25店舗に広げることができました。

mottECO！知ってコ！使ってコ！

～事業展開～

多摩市では「小盛メニュー」「ばら売り」「お持ち帰り」など環境にやさしい取り組みを行っている店舗を『多摩市食べきり協力店』として応援しています。

多摩市では、まずはこれらの店舗に協力を求めながら、mottECO普及啓発事業を展開していきました。

また、同時に市内の個人で経営している飲食店にも直接出向き、ご理解、協力を求めました。



mottECO ! 知ってコ ! 使ってコ !

～店舗との協力～

実施期間 10月～翌1月

協力店には、mottECO容器の他、店頭での掲示物やコンソーシアム共通で作成しているmottECOについての注意書きをお渡しし、負担なく協力いただけることをお話しています。



MottECO BOXと
注意事項チラシ



ポスター (A3 & A4)



スイングPOP



ステッカー

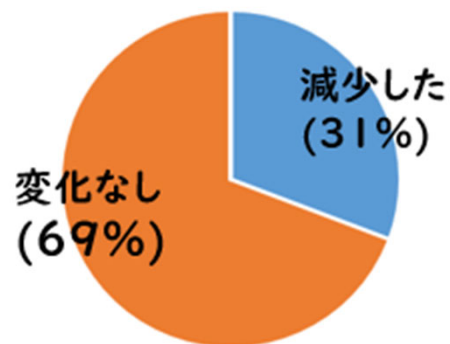


ミニのぼり

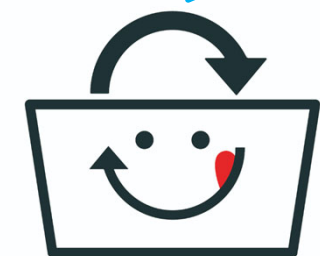
mottECO ! 知ってコ ! 使ってコ !

協力店の声

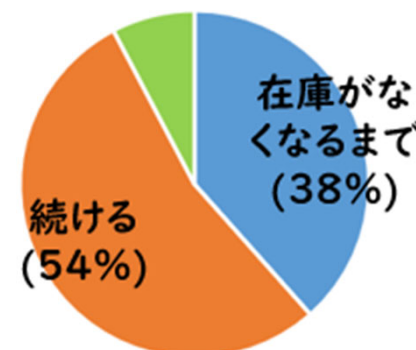
- * ポスターなどを掲示することによって認知度が高まった
- * もともと食べ残しはあまりない
- * 食べ残しの持ち帰り希望の声に対応できてよかった
- * BOXはもう少し小さいサイズがあると良い



食品ロスの量に変化
ありましたか



mottECO



事業終了後も
続けますか

自治体の役割として

自治体の役割として、飲食店への協力要請だけでなく、市民に対してもmottECOを認知、理解してもらうため、市内で開催されるイベントや、市役所ロビーでの展示や、アンケートによる認知度調査など様々な場面でPRを行っています。



市庁舎ロビー展示



市内イベントでの啓発

食ロス削減に向けて





合言葉は!!

あなたができる
エコ活動



多摩市 環境部 資源循環推進課